

礼拝

令和3年5月31日
2号

環境と美しくしよう ～6月の月間目標～

○整理整頓 ○清潔

今年度、初めての定期
 考査が終わり、教科によ
 ってはそろそろと、採点
 を終えた答案用紙が返却
 されていることと思いま
 す。今すべきことは、テ
 ストが終わった安堵感に
 包まれるのではなく、こ
 れまでの授業に対する姿
 勢やテストに対する取り
 組みなど、日々の生活の
 振り返りをきちんと行い、
 よりよい自分を作り上げ
 ていくことです。よくで
 きたこと、思い通りにい
 かなかったこと、頑張っ
 たこと、怠けてしまった
 ことなど、振り返りによ
 って、これからの生活環
 境を整えてもらいたいと
 思います。

さて、明日からは六月

に入ります。六月の月間目標は、「環境
 を美しくしよう」です。一口に環境を美
 しくすると言っても、いろいろな美化の
 しかたがあります。毎日の清掃活動だけ
 ではなく、本棚やロッカーを整理整頓す
 ること、終礼後に机の中や横にあるもの
 を片付けること、授業の用意をしてベル
 始業ができるようにすること、宿題をき
 ちんと完成してくることも、環境を美し
 くすることなのです。さらには、自分た
 ちが使う教室だけではなく、廊下や階段、
 部活で使用する体育館やグラウンドや更
 衣場所などを、正しく美しく利用してい
 くことも、環境を整えることへとつなが
 っていきます。そして場所やものを整え
 ていくことで、私たちの心も落ち着いた
 状態へと整っていくのです。

現在、地球規模で新型コロナウイルス
 感染症が拡大し、私たちの生活も一変し
 てしまいました。そのような環境の中で
 私たちにできることは、かからない、う
 つさない、広げないためにできる事を徹
 底すること、自分の我慢と周囲への思い
 やりではないでしょうか。

今から二五〇〇年以上前、お釈迦さま
 の時代にも、現在と同様に疫病が蔓延し
 た事があったそうです。それは、現在も
 疫病終息祈願でお称える「仏説却温黄
 神呪経(ぶつせつおんぎやうじんじゆきやう)」の中に

てくる「却瘟神呪(ぎやくおんじゆしゆ)」という
 お経が存在していることから推察する
 ことができます。

お釈迦さまの弟子の一人が、疫病を収束
 させるための方法を尋ねました。その疫
 病の凄まじさは燃え盛る大火事のように
 あり、亡くなる人は数え切れず、逃げ場
 も治療する方法もありませんでした。お
 釈迦さまは、「その疫病は七人の鬼神が
 毒をまき散らし、多くの人々を苦しめて
 いる。その鬼神の名を呼び、速やかに立
 ち去るようにと唱えたら、毒は自分の正
 体を見破られたと勘違いして、人々に危
 害を加えなくなるでしょう。私はあなた
 たちに、その鬼神の名前と神呪の唱え方
 を教えます。今から教える神呪は、その
 お経を頼りとする強い気持ちと、疫病を
 退散させたいという強い願いによって、
 初めて効力を発揮するのです。」と説か
 れました。

目に見えず、対処法が分からず、死と
 直面する感染症を恐怖や不安に思うのは
 今も昔も全く変わりません。このお釈迦
 さまの言葉は、現代に生きる私たちにも
 通じるものだと思います。人間より遙か
 に大きな力を持つ大自然や病気に対し
 て、謙虚な気持ちで感染が拡大しないよ
 うにお願いし、自分たちのできる事を徹
 底して、安全で安心できる日常生活を取
 り戻せるよう、一人一人が環境を整えて
 いく強い気持ちを持ちましょう。